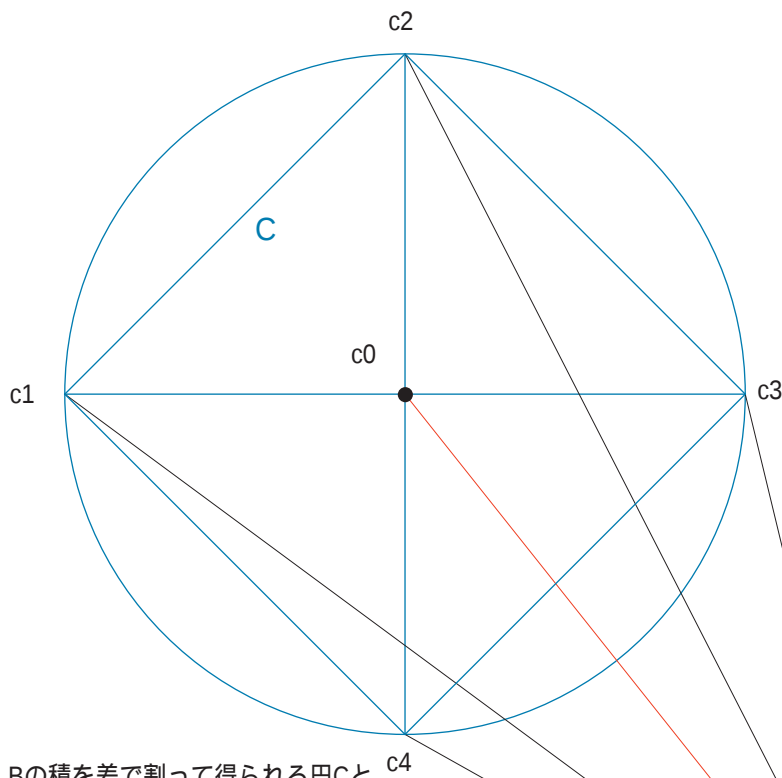
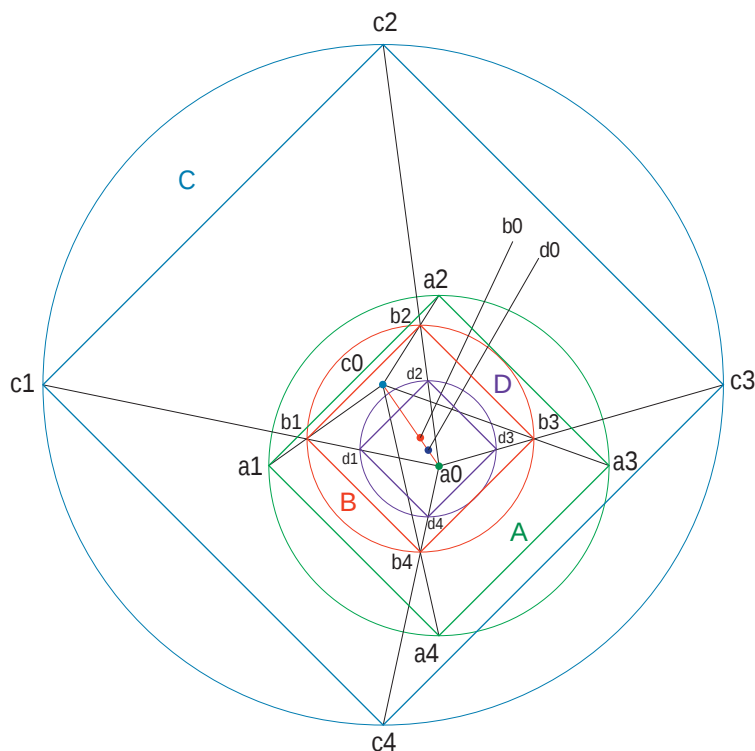




円A.Bの積を差で割って得られる円Cと
積を和で割って得られる円Dの関係

直交する直径の関係を
円に内接する正方形の関係で見る

正方形A.B.C.Dに於いて、Aの中心(a0)から正方形Cの4つの頂点(c1.c2.c3.c4)を結ぶ線上に並ぶ正方形B.Dの各4つの頂点(a0.d2.b2.c2)は、空間的に手前から奥に向かう放射線である。又、正方形Cの中心(c0)から正方形Aの4頂点を結ぶ線上に正方形Bの4頂点は位置し、この点を結ぶ線分は奥から手前に向かう放射線である。



< 2つの円A.Bが重なった場合 >

円Aと円Bが近づくと、円C.Dも相対的に近づき、その距離は4体の円の大きさの関係に比例する。

Cの直径は円A.Bの平行する直径の端点と中心を相互に結ぶ線の交点に現れる

prontyA/B/C

Dの直径は円A.Bの平行する直径の端点と中心を相互に結ぶ線の交点に現れる

prontyA/B/C

円A.Bの平行する直径の対角端点を結ぶ線の交点は、円A.Bの直径の積を和で割った値の直径を持つ円(D)の中心となり、円A.Bの直径の2つの端点と中心を相互に結んだ線分の交点は、円(D)の直径の端点(d1.d3)で交わる。

< 3体の相対距離は3体の大きさに比例する >

円A.Bの中心(a0.b0)が(x)離れると、
Dの中心(d0)はBの中心(b0)から
 xD/A 、Cの中心(c0)はBの中心(b0)
から xC/A 離れる。

pronty45/30/90=A/B/C

$c0.b0=xC/A$

$a0.b0=52=x$

$c0.b0=52*90/45=104$

pronty45/30/18=A/B/D

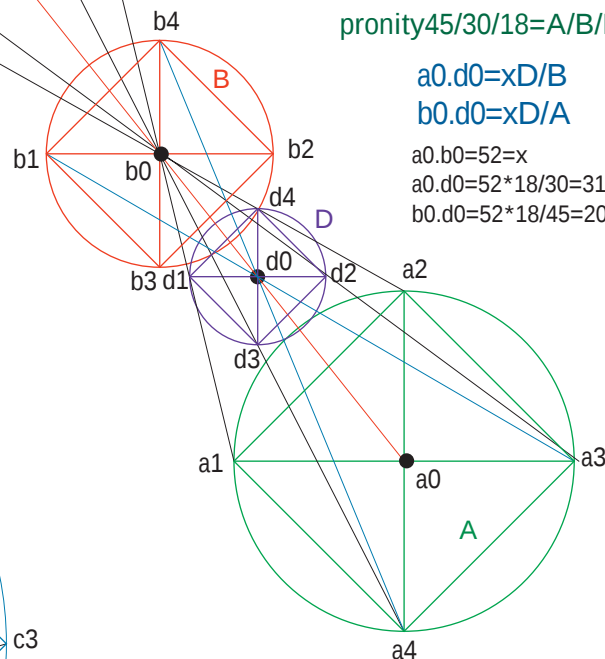
$a0.d0=xD/B$

$b0.d0=xD/A$

$a0.b0=52=x$

$a0.d0=52*18/30=31.2$

$b0.d0=52*18/45=20.8$



pronty45/30/18=A/B/D

$b0.d0=xD/A$

$a0.d0=xD/B$

$a0.b0=4.34=x$

$b0.d0=4.34*18/45=1.736$

$a0.d0=4.34*18/30=2.604$

pronty45/30/90=A/B/C

$c0.b0=xC/A$

$a0.b0=4.34=x$

$c0.b0=4.34*90/45=8.7$